

# 教育ICTコンシェルジュ

導入事例

## 中野区教育委員会 様

中野区教育委員会では、2025年12月より富士電機ITソリューションの協力のもと、生成AI (GeminiやNotebookLM)を区内の全小中学校29校に導入。利用対象を教員に限定し、校務の効率化や教育の質の向上を目指した取り組みを本格化させています。AIに任せられる業務を効率化することで、先生方が本来注力したい子供たちへの直接的な指導に割ける時間をより多く生み出すことに期待を寄せています。モデル校での実証事業や教員の校務利用の成果を受けて、児童生徒の生成AI活用についても検討を進めています。



### 導入の目的

教員の業務  
効率化

子供たちの  
指導に割く  
時間の拡大

教育の質の向上

安全性・有効性  
の実証

中野区教育委員会

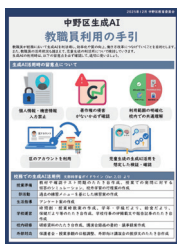
所在地 東京都中野区中野四丁目  
11番19号(中野区役所内)

学校数 小学校20校、中学校9校

## 校務の効率化を通じ子供たちの指導時間拡大へ 自治体方針に沿った「生成AI研修」を全校展開

### 自治体の方針に合わせた生成AI活用研修をご提供

教育ICTコンシェルジュによる「生成AI活用研修」は、校務での業務効率化のために、どのように生成AIを活用すればよいか分からないという現場の課題に応える実践型プログラムです。ベーシックからエキスパートまで年間を通したレベル別研修を提供。文部科学省ガイドラインに準拠し、各自治体の方針に合わせた柔軟なカスタマイズにも対応します。



#### 中野区へご提供のサービス内容

- ・手引の作成：区の「生成AI利用の留意点」に基づき、現場で即活用できる手引を作成
- ・Google フォームによる受講確認のしくみ
- ・オンデマンド研修動画 (ポータルサイトに掲載)

### 事例 | 校務におけるさまざまな活用(中野中学校)

校外学習のしおりでは、寒さ対策の服装を分かりやすく伝えるため、Geminiで作成したイラストを掲載しました。さらに、校務や学級活動のさまざまな場面で、アイデア出しや意見整理、生徒向けスライド作成などに活用し、業務の効率化を進めています。



#### その他の活用例

- 進路指導のためのスライド作成
- 40分の大掃除「中学生がやる気のできるタイトル案」のアイデア出し
- 学年目標を含めたスキー合宿のスローガンアイデア出し
- 自由研究後のアンケート項目案  
次年度に向けてヒアリングしておくべきことの確認等

## 校務効率化を通じて 教育の質を向上

中野区では、Google Workspace for Educationを各学校で活用してきましたが、生成AIについては明確な利用方針を定めていませんでした。しかし、文部科学省のガイドライン策定やAI技術の急速な進展もあり、現場からも活用したいと声が上がりました。これを受けて、12月から全校での教員による利用が正式にスタートしました。

導入の大きな目的は「教員の業務効率化」と「児童生徒の利活用についての検討」です。AIに任せられる業務をできるだけ効率化することで、教員が本来注力すべき子供たちへの直接的な指導や授業準備、生活指導に割ける時間を生み出すことができるものと期待しています。

導入にあたっては、リテラシーの差による不安の声もありAI特有の「ハルシネーション」への懸念や、個人情報の取り扱いといったセキュリティ面の課題も多くありました。しかし、文部科学省のガイドラインに沿った運用方針を明確にし、富士電機ITソリューションによる専門的な研修の受講をセットにすることで、現場の理解を深めていきました。

## 校務と親和性が高く 大幅な時短につながる

現在、100名程の教員が研修を受講し、業務での「Gemini」や「NotebookLM」の活用を始めています。

教育現場では文部科学省や東京都からの様々な資料を理解した上で進める必要のある仕事ばかりです。これらをNotebookLMに読み込ませることで、

今まで何時間もかけて読み込んでいた資料を瞬時に要約したり、必要な情報を抽出したりすることが容易にできるようになりました。こうした作業は校務と極めて親和性が高いと感じます。

一方、Geminiは、学級通信のドラフト作成や行事の計画案、スライド資料の作成などで威力を発揮しています。プロンプトを工夫することで、デザイン性の高い資料や多角的なアイデア出しが容易になり、資料作成の大幅な時短につながっています。

## 研修とICT支援員を通じた 手厚いサポート 利用率8割を目指して 活用を加速

今回の導入において大きな役割を果たしたのが、富士電機ITソリューションの教育ICTコンシェルジュによる「生成AI研修」です。研修の質がとて高く、特にセキュリティや個人情報保護に関するガイドラインを網羅した内容は、学校現場に安心感を与えてくれました。また、操作方法だけでなく、具体的な活用事例を提示してくれたことで、教員が「自分でも使えそうだ」という実感を持つことができました。

加えて、5年前から継続しているICT支援員のサポートも重要なポイントです。教員にとって、顔の見える信頼関係があるICT支援員さんに、



中野区教育委員会  
指導主事 高橋 雄哉 様

「Gemini」や「NotebookLM」の開き方やソースの追加方法などを直接聞ける体制があることはとても心強く感じようです。問いに対するレスポンスがとても速く、的確なので、教育現場での活用の足を止めない鍵になっています。

今後の目標は、来年度中に教員の校務での生成AI利用率を高め、校務の改善を行うとともに、児童生徒の活用にあたっての課題を整理することです。多くの教員がAIを使いこなすことで、現場独自のノウハウやプロンプトの共有が進み、区全体での底上げも期待しています。

また、児童生徒向けの生成AIのリテラシーに関する教育や効果的な利活用についても同時に検討していきます。文部科学省のガイドラインに沿って、児童生徒の発達段階や安全性に十分配慮した上で、他自治体の活用方法も参考に教員を介した生成AIの利活用の在り方を検討したいと思います。

AI導入を検討している他自治体には「まずは使ってみることを」をお勧めします。要約だけでもいいので触れてみて、AIの反応の肌感覚を掴むことが大切です。また、富士電機ITソリューションのような専門的な知見と現場サポートを併せ持つパートナーと共に進めることで、安全かつ効果的な導入が可能になると思います。

## 富士電機ITソリューション株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-12  
TEL:03-5817-5756  
<https://www.fujielectric.co.jp/fsl>



※登録の詳細につきましては弊社ホームページをご覧ください。